

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年11月27日 (2014.11.27)

【公表番号】特表2012-533600(P2012-533600A)

【公表日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-521031(P2012-521031)

【国際特許分類】

C 0 7 C 41/30 (2006.01)

C 0 7 C 43/23 (2006.01)

C 0 7 C 43/205 (2006.01)

C 0 7 C 41/20 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 41/30

C 0 7 C 43/23 A

C 0 7 C 43/205 A

C 0 7 C 41/20

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年10月9日 (2014.10.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

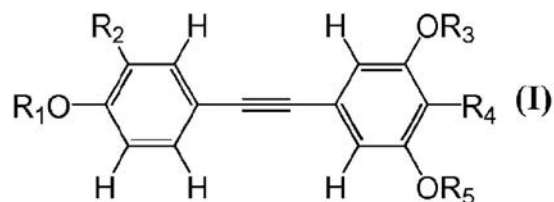
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 ( I ) の化合物

【化 1】



[ 式中、

$R_1$  は、 $H$ ；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  アルキル；テトラヒドロピリル、または  $-CH_2-$  フェニルであり；

$R_2$  は  $H$  または  $OR'_2$  であり、ここで  $R'_2$  は、 $H$ ；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  - アルキルまたは  $-CH_2-$  フェニルである；

$R_3$  は、 $H$ ；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  アルキル；テトラヒドロピリル、または  $-CH_2-$  フェニルであり；

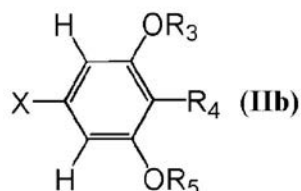
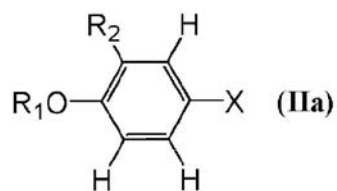
$R_4$  は  $H$  または  $OR'_4$  であり、ここで  $R'_4$  は、 $H$ ；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  - アルキルまたは  $-CH_2-$  フェニルであり；

$R_5$  は、 $H$ ；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  アルキル；テトラヒドロピリル

、または -CH<sub>2</sub>-フェニルである]

の生成方法であって、式(IIa)または(IIb)の化合物

【化2】



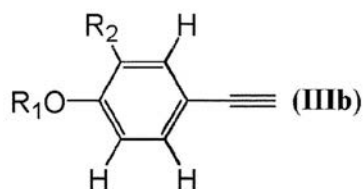
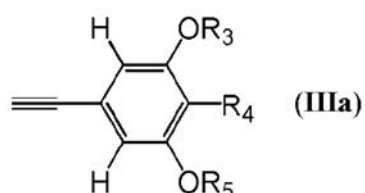
[式中、

置換基 R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>、R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>、および R<sub>5</sub> は、式(I)について定義されたのと同じ意味を有し、

X は、-I；-Br；-Cl；または -N<sub>2</sub> である]

と式(IIIa)または(IIIb)の化合物

【化3】



[式中、

置換基 R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>、R<sub>3</sub>、R<sub>4</sub>、および R<sub>5</sub> は、式(I)について定義されたのと同じ意味を有する]

を反応させる方法において、

不均一系触媒系が使用されることを特徴とする方法。

【請求項2】

式(IIa)の化合物と式(IIIa)の化合物を反応させる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

式(IIb)の化合物と式(IIIb)の化合物を反応させる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

R<sub>1</sub> は、H；-CH<sub>3</sub>；-CH<sub>2</sub>CH<sub>3</sub>、または -CH<sub>2</sub>-フェニルであり；

$R_2$  は、H または  $OR'_2$  であり、ここで  $R'_2$  は  $-CH_3$  または  $-CH_2CH_3$  であり；

$R_3$  は、H； $-CH_3$ ； $-CH_2CH_3$ 、または  $-CH_2$ -フェニルであり；

$R_4$  は、H または  $OR'_4$  であり、ここで  $R'_4$  は  $-CH_3$  または  $-CH_2CH_3$  であり；

$R_5$  は、H； $-CH_3$ ； $-CH_2CH_3$ 、または  $-CH_2$ -フェニルである、  
請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

$R_1$  は、H； $-CH_3$ ；または  $-CH_2CH_3$  であり；

$R_2$  は、H または  $OR'_2$  であり、ここで  $R'_2$  は  $-CH_3$  または  $-CH_2CH_3$  であり；

$R_3$  は、H； $-CH_3$ ；または  $-CH_2CH_3$  であり；

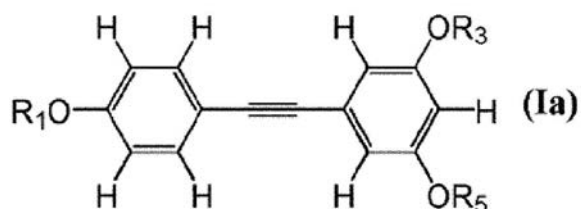
$R_4$  は、H または  $OR'_4$  であり、ここで  $R'_4$  は  $-CH_3$  または  $-CH_2CH_3$  であり；

$R_5$  は、H； $-CH_3$ ；または  $-CH_2CH_3$  である、  
請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記式 (I) の化合物が、式 (Ia) の化合物

【化 4】



[ 式中、

$R_1$ 、 $R_3$ 、および  $R_5$  は互いに独立して、H；線状、分枝状、または環状の  $C_1 \sim C_6$ -アルキル；テトラヒドロピリル、または  $-CH_2$ -フェニルである]

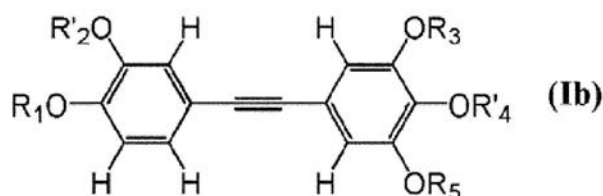
であり、

前記式 (IIa)、(IIb)、(IIIa) および (IIIb) における  $R_2$  および  $R_4$  が H である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記式 (I) の化合物が、式 (Ib) の化合物

【化 5】



[ 式中、

$R_1$ 、 $R'_2$ 、 $R_3$ 、 $R'_4$ 、および  $R_5$  は互いに独立して、H；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$ -アルキル；テトラヒドロピリル、または  $-CH_2$ -フェニルである]

であり、

前記式 (IIa)、(IIb)、(IIIa) および (IIIb) において、

$R_2$  は  $OR'_2$  であり、ここで  $R'_2$  は、H；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  - アルキル、または  $-CH_2$  - フェニルであり、

$R_4$  は  $OR'_4$  であり、ここで  $R'_4$  は、H；線状、分枝状、もしくは環状の  $C_1 \sim C_6$  - アルキル、または  $-CH_2$  - フェニルである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記触媒系が、担体に担持された触媒を含む不均一系である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記触媒系が、 $Pd/BaSO_4$ 、 $Pd/CaCO_3$ 、 $Pd/Al_2O_3$ 、 $Pd/TiO_2$ 、 $Pd/SiO_2$ 、 $Pd/ZnO$ 、および  $Pd/C$  からなる群から選択される、請求項 8 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

( $R_1$ 、 $R'_2$ 、 $R_3$ 、 $R'_4$ 、および  $R_5$  の定義における) 線状、分枝状、および環状の  $C_1 \sim C_6$  - アルキル基はまた置換され得る。好適な置換基は、 $C_1 \sim C_4$  アルコキシ(好ましくは  $-OCH_3$  および  $-OCH_2CH_3$ )、およびアリアルである。1つまたは複数の線状、分枝状、および環状の  $C_1 \sim C_6$  - アルキル基が少なくとも1つの置換基で置換されている場合、置換基は、 $C_1 \sim C_4$  アルコキシ(好ましくは  $-OCH_3$  および  $-OCH_2CH_3$ )、およびアリアルからなる群から選択される。